

平成 27 年度 春期中国語研修 報告書

都市教養学部都市教養学科 人文・社会系 社会学コース 2年

春期中国語研修で3週間、台湾に行った。この3週間、毎日が濃く、とても充実していた。授業は、簡単な面接をうけた結果でクラスがレベルごとに分けられる。私のクラスの授業では、主に教科書を使いながら文法や単語を学び、先生との会話、ペアワーク、グループワークなどで発音しながら定着させるというものであった。中国語を話すことが多い授業で、とても練習になった。私のクラスのメンバーは日本人6人、韓国人3人でその中で学生もいれば大人の方もいて、年齢層も様々であったが、休憩時間などはおしゃべりをすることも多く、親しくなることができた。

放課後では、文化授業を3つ、校外学習を2つ選択して、それを体験した。3週間のうち5日間は自分が選択した文化授業、校外学習で埋まり、それ以外は自由時間になった。授業が午前で終わるため、自由時間が多かったという印象がある。台湾師範大学はアクセスの良い位置にあり、様々な所に出かけやすかった。台湾のガイドブックを制覇できたと言っていいほどたくさん所に行った。台湾の景色、食べ物、人との触れ合いなどを通して台湾の良さに巡り合い、台湾を知ることができた。また、店員の方と中国語で会話する機会もあり、看板を見て習った単語だと発見したり、意味を推測してみたりと、現地に行ってからこそ出来る事もたくさん得られた。

最後に、留学先で様々な人に出会えたこと。国籍は韓国であるが、日本に住んでいて日本語がペラペラな人。英語、台湾語、韓国語、日本語が喋れる人。将来起業したいと思っている人。将来台湾で働きたいと思っている人。台湾に1年留学している首都大学東京の先輩。ここには挙げきれないほどたくさんの人に出会い、たくさん話をきくことができた。意識の高い人が多く、しっかり自分の考えを持っていてとても尊敬し、刺激を受けた。

この台湾での経験は今後の自分の人生にとって影響を与え、かけがえのないものになった。ぜひ台湾に行くことをお勧めする。



(左：タピオカミルクティー発祥の店 春水堂にて / 右：淡水にて)